

# メンタライゼーションを基盤とした 思春期心理療法（MBT-A） 訓練研修

【日時】

2024年 6月

1(土)・2(日)・15(土)・16(日)  
19時～23時（全16時間）

【場所】 オンライン(ZOOM)

【定員】 最大40名・最低催行人数20名

(注) 20名に満たない場合は、開催が中止になる可能性があります。

受講料  
8.5万円



本研修では

思春期を対象にメンタライジングに基づく治療を行う際に  
必要となる、思春期に見られるメンタライゼーション発達、  
MBT-Aの治療枠組み、実践スキルを学びます。

講師

**Professor Karin Ensink**

MBT Canada、ならびに複雑性トラウマクリニックの創設者。アンナ・フロイト・センター AFC認定 MBTスーパーバイザー（児童期、思春期、成人期）およびMBTトレーナー（児童期・思春期）。MBT-C開発者並びにマニュアル執筆者の一人であり、『子どものためのメンタライゼーションに基づく治療』など、子どもと青少年の治療に関する多数の本の著者である。メンタライジングの発達、トラウマにおける回復力要因としてのメンタライジングの役割などについて広く出版している。カナダLaval大学心理学部教授。

講師  
通訳

**ガヴィニオ重利子**

臨床心理士。AFC認定MBT（児童期・思春期）スーパーバイザー。現在、スイス・ジュネーブ州でChild-Parent Counselling開業臨床、ならびに英国University College London/ AFCでMBTの国際的汎用性をテーマとした博士課程研究に従事。サポチル通年研修「メンタライゼーションを臨床に活かす」担当講師・専門会員。

## 本研修で扱うトピック

メンタライジング・メンタライジング発達の鍵概念

MBTとMBT-Aの違い

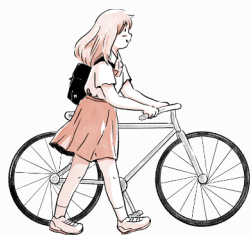
メンタライジングと自傷

MBT-Aの構造と枠組み

思春期の脳

広汎的介入

実践練習



## 本研修の特徴

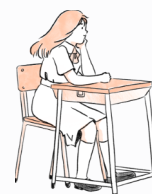
▶対象：臨床心理士、公認心理師、精神科医、カウンセラー、セラピスト、心理職など、思春期を対象とした臨床の実践者（メンタライゼーションについての基礎的な理解があることが望ましい）

▶Anna Freud Centreが登録管理をする**MBT-C Practitioner認定**の登録に適用されます。（認定を希望される場合、本研修に加えて必要な研修を受講する必要があります。）

▶Ensink先生の**英語での講義**+ガヴィニオ先生の通訳で構成されています。研修資料は翻訳したものが配布されます。

## ■お申し込み■

募集は以下の2期間に分けて実施します。



### ①優先申し込み（サポチル正会員）

募集期間：4/3(水)20:00～16(火)23:59

人数：先着順10名+抽選枠10名

### ②一般申し込み

募集期間：4/17(水)20:00～30(火)23:59

人数：先着順10名+抽選枠10名

申し込みフォームはこちら



<https://forms.gle/75MgeA3oyqHKnVMH7>



▲ご注意▲ サポチル正会員（専門会員・ボランティア会員）の皆様へ

- ・サポチル正会員で必ず受講したい場合は、**優先申し込みの先着順**を狙ってください。
- ・優先申し込み期間の抽選枠で外れた場合は、**一般申し込み期間の抽選枠**に**自動**でエントリーされます。
- ・サポチル正会員で一般申し込み期間に申し込んだ場合は、**抽選枠**にエントリーされます。

【お問い合わせ】



認定NPO法人 子どもの心理療法支援会  
研修プログラムグループ事務局

E-mail:kenshu@sacp.jp